

大学名	奥羽大学
講座、分野（教室）名	歯学部 成長発育歯学講座 小児歯科学分野
主任教授	島村和宏

講座の特色

奥羽大学（旧 東北歯科大学）歯学部小児歯科は、1978年（昭和53年）に神奈川県立こども病院の池田正一先生を助教授にお迎えし、診療科の一つとして誕生しました。1985年（昭和60年）に初代、佐藤 博教授のもと小児歯科学講座が開設され、1994年（平成6年）第2代鈴木康生教授をむかえて、2004年（平成16年）からは成長発育歯学講座（小児歯科学分野・歯科矯正学分野）として再構築され、診療科も小児・矯正歯科となりました。2011年（平成23年）に第3代主任教授として島村和宏が就任し、現在に至っています。開設以来、福島県内はもとより、東北の近隣各県・北関東地域から来院される患者さんの診療にあたりながら、小児歯科学の理論および小児歯科臨床の結果を裏付ける研究の推進、質の高い小児歯科治療の提供、確かな力量を持った小児歯科医（日本小児歯科学会専門医、日本障害者歯科学会認定医）の育成を目指して努力しております。

2017年4月現在、所属医局員は9名で、年間のべ患者数1万人を超える外来患者さんと、年間約90件の全身麻酔下歯科治療にあたっています。口腔外科、歯科麻酔科との連携はもとより、同じ診療室内で矯正歯科の診療が行われていることから、常に矯正歯科と連携した診療が行え、小児歯科で管理中の患者も必要に応じて指導・支援が受けられます。

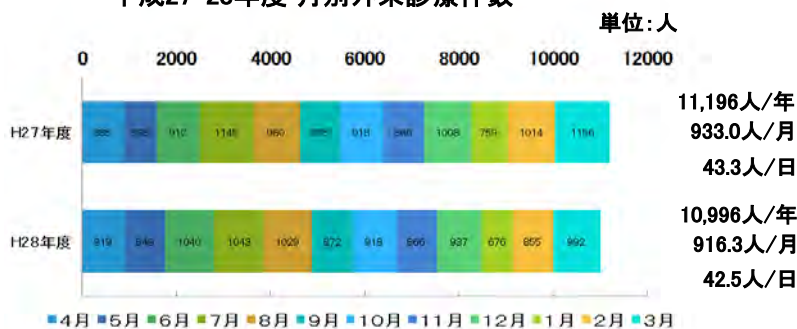
診療室の実際

病院

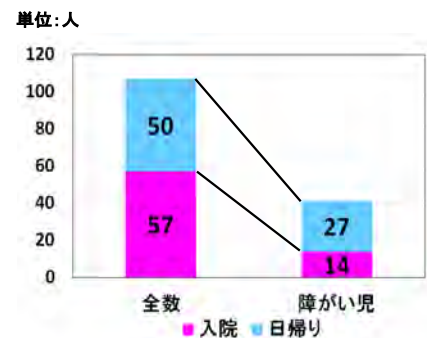
設備	チェア数： 12台
スタッフ	歯科衛生士： 5名

※

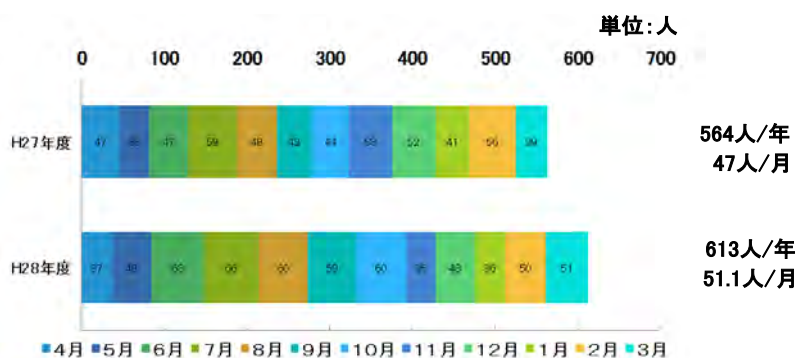
平成27・28年度 月別外来診療件数



平成28年度 全身麻酔下歯科治療



平成27・28年度 月別外来新患者数



奥羽大学歯学部附属病院における全身麻酔下歯科治療は、年間約400件で、そのうち約1/4を小児歯科が占めている。

齲蝕歯の治療が最も多いが、その他に近隣歯科医院からの紹介による埋伏過剰歯抜去や歯牙腫摘出などの口腔外科処置も多く、臨床手技の向上に繋がっている。

大学名	奥羽大学		
講座、分野（教室）名	成長発育歯学講座 小児歯科学分野		
主任教授	島村和宏		
講座医局員研修プログラム責任者	島村和宏		
講座医局員研修プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本小児歯科学会専門医 日本障害者歯科学会認定医も取得可能		
講座医局員研修プログラムの特色			
<p>小児は発育過程にあるため、成人と異なり診察を行うためにもさまざまな工夫を必要とする。また障害を持つ小児に対しても、その保護者への対応と併せて事前の準備が必要になることが多い。小児（障害児を含む）を対象に、顎口腔領域の疾患や異常の予防と治療を行い、顎口腔領域の機能と形態の健全な育成を目的としている。また障害者に対しても、適切な治療を行い、口腔機能の維持・向上を目標にしている。そのため単に歯科治療の技術の修得だけでなく、幅広い分野の知識・技能が必要である。これらを効率よく修得できるよう、歯科麻酔科・口腔外科・総合歯科とも連携して指導にあっている。</p>			
講座医局員研修プログラムの内容			
大学院生		病院助手・助教	
1年目 4年目	<p>臨床技能の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 1口腔単位での治療計画の立案 2) 齲蝕治療 3) 外傷の処置 4) 埋伏歯・軟組織などの外科的処置 5) 受動的・能動的咬合誘導 6) 予防プログラムの立案、実施 7) 障害児・者の歯科治療 <p>公衆衛生活動の場での健診・指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保育園・幼稚園 2) 特別支援学校（小・中・高） <p>知識の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学院講義・セミナー 2) 論文抄読 3) 学位論文指導 	1年目 2年目	<p>臨床技能の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 1口腔単位での治療計画の立案 2) 齲蝕治療 3) 外傷の処置 4) 埋伏歯・軟組織などの外科的処置 5) 受動的・能動的咬合誘導 6) 予防プログラムの立案、実施 7) 障害児・者の歯科治療 <p>公衆衛生活動の場での健診・指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保育園・幼稚園 2) 特別支援学校（小・中・高） <p>知識の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学内セミナー 2) 論文抄読 3) 臨床研究および学会発表の指導
卒後 1年目	<p>臨床技能の研修</p> <p>他科と連携したより高度な対応が必要な患者に対して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 1口腔単位での治療計画の立案 2) 齲蝕治療・外科的処置 3) 予防プログラムの立案、実施 <p>公衆衛生活動の場での健診・指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保育園・幼稚園 2) 特別支援学校（小・中・高） <p>知識の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学内セミナー 2) 論文抄読 3) 講座内研究参画 <p>専門医への準備</p>	3年目	<p>臨床技能の研修</p> <p>他科と連携したより高度な対応が必要な患者に対して</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 1口腔単位での治療計画の立案 2) 齲蝕治療・外科的処置 3) 予防プログラムの立案、実施 <p>公衆衛生活動の場での健診・指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 保育園・幼稚園 2) 特別支援学校（小・中・高） <p>知識の研修</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 大学内セミナー 2) 論文抄読 3) 臨床研究および学会発表の指導 <p>専門医への準備</p>
<p>臨床技能・知識については、個々の配当患者を元にししながら、随時指導を受ける。歯列咬合不正については、必要に応じて歯科矯正学分野の協力を得ながら対応を学ぶ。</p> <p>また口腔外科処置については、教授を含め上級医の診療介助・準備によりその手順を学びながら、1年目から直接指導で手技を学ぶ。さらに症例によっては、口腔外科の協力を得て処置にあたることもあり、手術介助等を通じて技術の習得・向上を目指す。</p> <p>患者の全身管理については、全身麻酔下歯科処置症例を通じて管理について学ぶ。口腔外科・歯科麻酔科の協力を得て、障害児・者を含む全身麻酔下処置患者の静脈確保や輸液管理について実践しながら習得することも可能である。</p> <p>日々の患者数は比較的多いことから、個人個人の取り組みによって、技能と知識の習得は深まる。</p> <p>学位未取得者であっても病院助手・助教（任期あり）に任用される。その後社会人大学院制度により学位を取得できれば、以降の任用継続や講師等昇任の道もある。</p>			

大学名	奥羽大学
講座、分野（教室）名	成長発育歯学講座 小児歯科学分野
主任教授	島村和宏

